

俳句の短いのですから最初に簡単だと思ったが、実はちょっと難しい。三行の中に意味を伝えにくいだからだ。でも、短さが美しいと思う。

俳句をちょっと作りにくいだった。短さの意外、季語を作らなければならないことも難しい。この授業の前にこのルールを知らなかった。時々俳句は季節についてではないから季語を使いにくいだと思う。でも、ルールが少なくて分かりやすいだ。

日本では季節がよくあって見えるから日本の文化的だと思う。俳句は日本の伝統的なポエムだから、季節のような大切なことが必要だ。その上、俳句がだいたいきれいだからきれいな季節のことを作れば俳句がもっときれいになるかもしれない。

575 は日本語でまあまあ簡単だと思う。英語のほうが難しい。ライムのリズムより 575 のリズムのほうが好きだ。

松尾芭蕉の俳句の中で私の一番好きな俳句が奥の細道から：

夏草や

兵どもが

夢のあと

この俳句の意味が大切で面白いと思う。人間は人のことを続こうとしているが変化することだから人のことを絶対変化する。一方で自然のことがあまり変化しない。この意味が本当に大切だと思う。

「初恋」「雨にも負けず」「道程」の中で「雨にも負けず」が一番好きだ。なぜならあの詩の人が良くてかっこいと思う。あのような人になりたいだ。何年か前に授業で俳句を作ったから作ったことがある。でも、英語で書くことと日本語で書くことと比べると絶対違うと思う。英語と日本語がたくさん違いがあるからだ。アメリカの文化と日本の文化も違うから日本語で書くことの経験と英語で書くことの経験が違うと思う。多分、俳句を日本語のほうが好きかもしれない。

「読むだけ」なことは俳句や詩のことをよく考えて話が理解できるが、詠んだ人のことや俳句の作り方などがよく理解できないと思う。自分で作れば、詠んだ人の場合がもっと分かると思う。それから、俳句や詩のことがもっと鑑賞できる。